

世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 セネガル共和国 



【表紙の写真】

トゥーバのモスク (右上)

イスラム教徒のセネガル人にとって聖地です。

セネガルの子どもたち (左下)

村からの帰り、カール (乗り合いバス) を待っていると、近くの村の子どもたちが遊んでいました。外国人の私が物珍しかったのか、初めは遠くで見えていたのですが、だんだん近づいてきて話しかけてくれました。子どもたちの笑顔のかわいさに思わず撮った写真です。

Contents

01 こんな想いを込めました!

02 こんな教材です!

03 こんな風に使えます!

05 なぜセネガル共和国?

第1章 セネガルってどんな国? =みんな家族! ? =

07 クイズ100人に聞きました!

09 テランガの国セネガル!!

11 学校へ行こう!

13 モクタールくんの一日

15 主食はお米です!?

17 セネガルってどんなところ?

19 フォトギャラリー

第2章 へえ〜! セネガルと日本

21 日本のイメージは”ニャハナ”!!

23 高層ビルと『わらの家』…どっちがセネガル?

25 セネガルの活動報告=頑張るおばちゃんたち=

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

27 ピーナッツバターは調味料!?

31 豊かさについて考えよう!

33 フォトギャラリー

第4章 そして未来へ

35 もしも外国とのつながりがなくなったら

36 未来の地球

★参考資料★

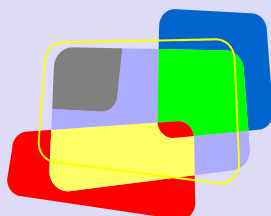
39 目で見るセネガル

41 アフリカ & セネガル地図

43 ご協力いただいた方たち

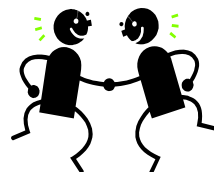
43 参考文献・データ等出典

43 執筆・教材作成チームメンバー



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい/つなげていきたい/
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していけたらいいなと思います。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ〜。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊かさ」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさんの問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えてつくりました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけではなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、セネガルのほんの一面です。本書だけでセネガルのすべてがわかるわけではありません。セネガルに親しみを感じ、関心を持ってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。P.3～4に掲載した使い方の例を参考に、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、データ・写真の著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係者や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。タイトルの横にそれぞれのプログラムの「ねらい」が掲載されていますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



ちょっとブレイク！一口コラムです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の撮影者です。



こんな風に使えます！

例えば、こんな使い方はいかがですか？

第1章 セネガルってどんな国？＝みんな家族！？＝

● P.7 クイズ100人に聞きました！

セネガルを学ぶ学習の導入として使えます。正しい答えはなかなか出てこないと思いますが、正しい答えを求めることがねらいではありません。特に、アフリカ全体についてわたしたちが持っている情報はとても少なく、何となくのイメージだけで捉えがちです。まずは知らないということに気づいて、「アフリカってどんなところだろう?」「セネガルっていったいどんな国だろう?」と興味を持ってもらい、次の作業につなげるとよいでしょう。

①の地図は、日本が中心にありません。普段日本で使われている世界地図は、日本が中心になっているものが多いのですが、「極東の国」といわれるように、ほかの国では日本が右端になっている地図が多く使われています。これをきっかけに、世界で使われている様々な地図を調べてみるのもおもしろいでしょう。

● P.9 テランガの国セネガル！！

小学生を対象に行うのにとってもいいプログラムです。お茶の飲み方が実演できると、なおいいですね。

● P.11 学校へ行こう！

カードをバラバラに切り離してグループで「ウソ」と「ホント」に分ける作業をしますが、場合によっては、裏紙などで「ウソ」カードと「ホント」カードを作り、個人またはグループで掲げてもらっても楽しいかもしれません。また、調べ学習などと組み合わせ、参加者にクイズを作ってもらい、お互いにクイズを出し合うのもおもしろいでしょう。

● P.13 モクタールくんの一日

参加者が小学生の場合は特に、自分たちの円グラフを作ってからセネガルの小学生の生活や学校のことを紹介すると、親近感を感じることができると思います。時間がない場合は、その作業を省略することもOKです。ここではモクタールくんとジョエルくんの生活が比較できるようになっているので、P.23の「高層ビルと『わらの家』...どっちがセネガル?」のプログラムにつなげてみるのもおもしろいでしょう。

● P.15 主食はお米です!?

日本側のメニューを出さずに「日本でも同じようなお料理はある?」と聞いてみるのもいいかもしれません。「マフェ」についてはP.30にレシピが載っているので、作って食べてみたりするとなお盛り上がります。

● P.17 セネガルってどんなところ?

このプログラムは、ある程度セネガルについて学んだ後のまとめとして行うといいでしょう。企画コンペは勝敗を決めることが目的ではありません。どんなところがよかったのか、みんなでふりかえる時間をとることが大切です。

第2章 へえ～！セネガルと日本

● P.21 日本のイメージは”ニャハナ”！！

時間に余裕があるなら、①で日本をイメージした絵を描いてみて比較してみるのもおもしろいでしょう。また、セネガルの音楽を実際に聞いてみるのも楽しいですね。

● P.23 高層ビルと『わらの家』…どっちがセネガル?

可能なら写真はダウンロードし拡大して使ってください。⑤については、時間があれば調べ学習にして子どもたちに発表してもらってもいいと思います。

P.27 ピーナッツバターは調味料！？

プログラムを行うとき、ピーナッツを用意して食べるところから入ってもおもしろいでしょう。あるいは、P.15「主食はお米です!？」と組み合わせ、マフェを食べてからこのアクティビティを行ってもいいかもしれません。漫画については、いろいろな使い方ができます。バラバラに切って順番を考えたり、セリフの部分を隠しておいて何といったか考えたり。対象によってアレンジしてください。

P.31 豊かさについて考えよう！

じっくり考えるプログラムです。セネガルのことを学んだあとのまとめのプログラムとして行うといいでしょう。また、ここから地球規模の課題について考えるプログラムに発展させることもできます。

第4章 そして未来へ

P.35 もしも外国とのつながりがなくなったら／P.36 未来の地球

導入としてもまとめとしても使えるプログラムです。P.37の成果物も参考にしてください。

その他いろいろ

- 国際交流は楽しいものです。プログラムも楽しい雰囲気が進められるよう参加者に合わせた進め方にアレンジしてください。
- プログラムは単独でも組み合わせても使えます。参加型のプログラムと情報提供の時間をうまく組み合わせましょう。例えば、「ウソ?ホント?クイズ」のあとに留学生や青年海外協力隊OB／OGなどのお話を伺うと、より楽しくわかりやすいと思います。
- 4～6人のグループで行うとアイデアが出やすく、場も盛り上がります。ただ、流れや状況に応じて、個人作業や全員での作業を交えながらメリハリをつけるといいでしょう。
- 各プログラムの最後に「気づいたこと、わかったこと、感じたこと」などを聞くふりかえりの時間をとると、より理解が深まり、記憶に残りやすいでしょう。
- P.19・33にセネガルの写真を掲載しています。必要に応じて活用してください。
- P.41に参考文献、出典などを掲載しています。特にデータについては、最新のものを使っていただいた方がいいと思います。
- セネガル以外の国の教材も作成しています（→P.5）。同じテーマを扱っている国もありますので、組み合わせるとおもしろいかもしれません。例えば、料理や学校の様子などはいろいろな国のものを合わせて比較すると楽しいですネ!
- 慣れてきたら、グループごとに国を決めて子どもたちがファシリテーター役でプログラムを進めるのもおもしろいかもしれません。

なぜセネガル共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

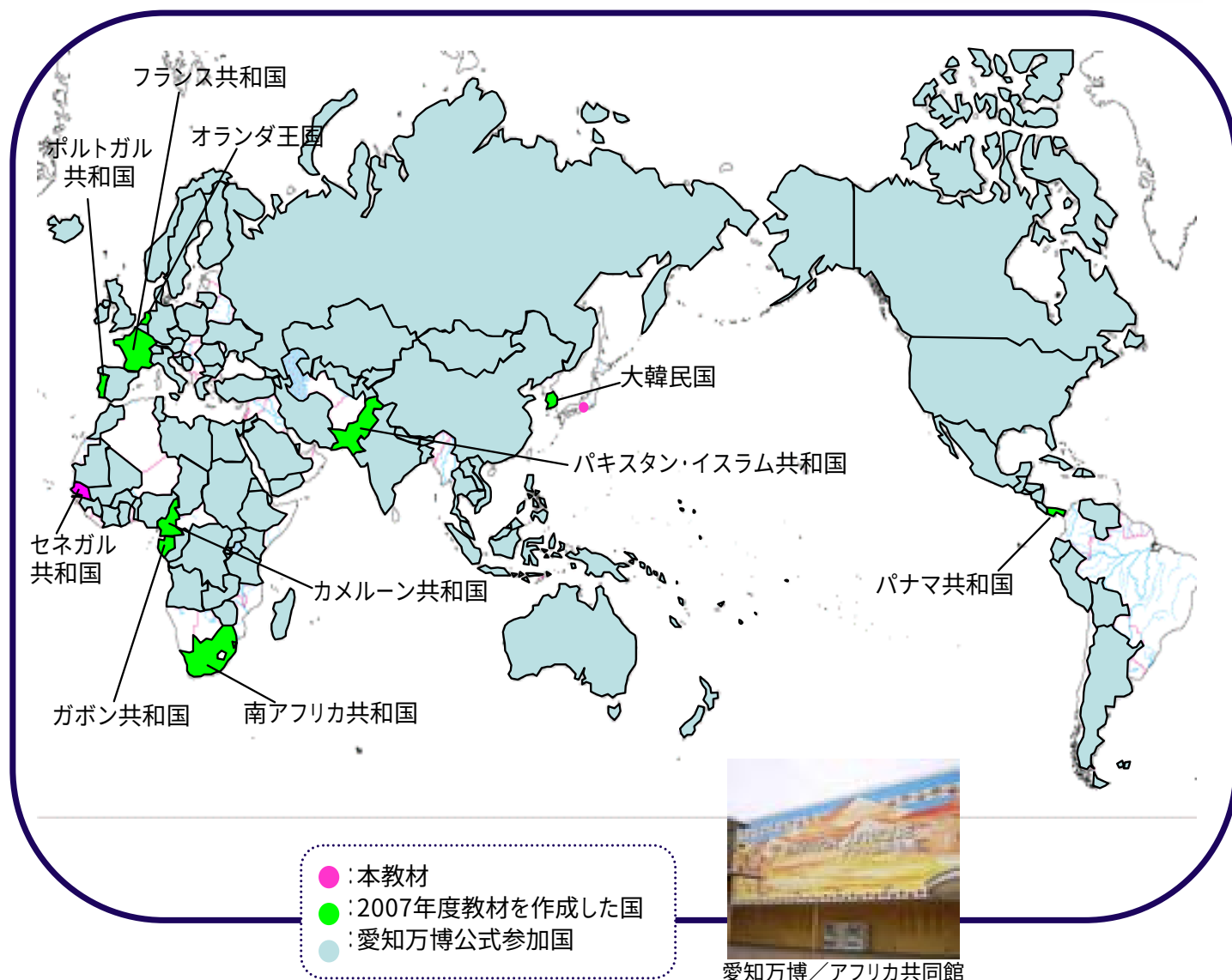
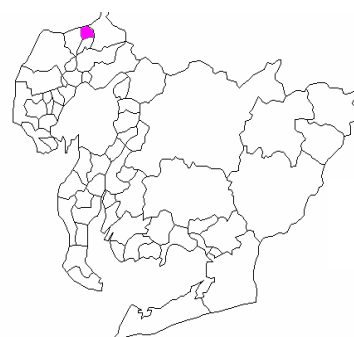
2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、**セネガル共和国**のホームタウンは、**扶桑町**でした。

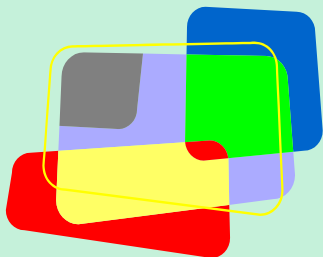
扶桑町



第1章

セネガルってどんな国？

=みんな家族！？=



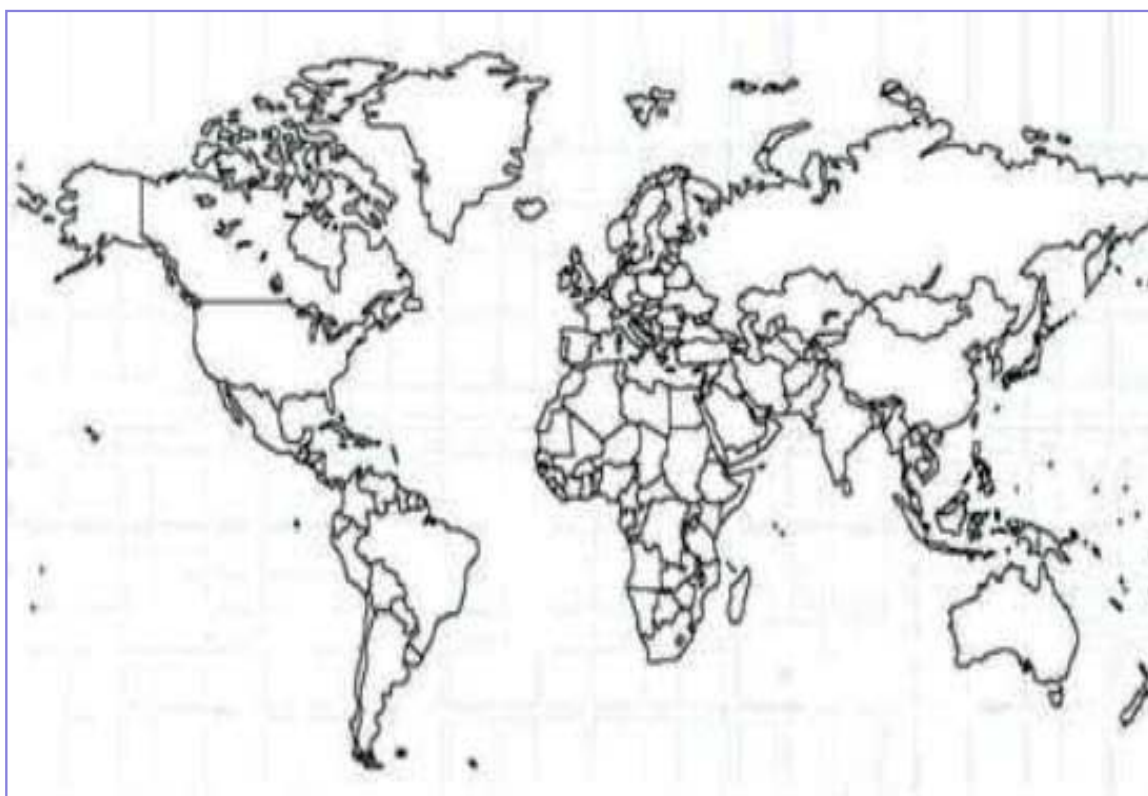
クイズ100人に聞きました！

① ところで、みなさんはセネガルのこと、どのくらい知っていますか？



① アフリカで知っている国を書いてください。

② 下記の地図でセネガル共和国はどこだと思いますか？ この辺だと思うところに印をつけてください。



③ セネガルといえば何を思い出しますか？ 人・物・イメージなど何でも思いつくもの、知っている人などできるだけたくさん書いてください。



ピンクの湖？ (→P.41地図)

ダカル郊外、約30kmのところにあるラックローズ (Lac Rose) なんと、バラ色の湖なんです。プランクトンの量や塩分濃度、気候などによって色が変わるらしいのですが、塩分濃度が海水より濃いのでプカプカと浮くらしいですよ！

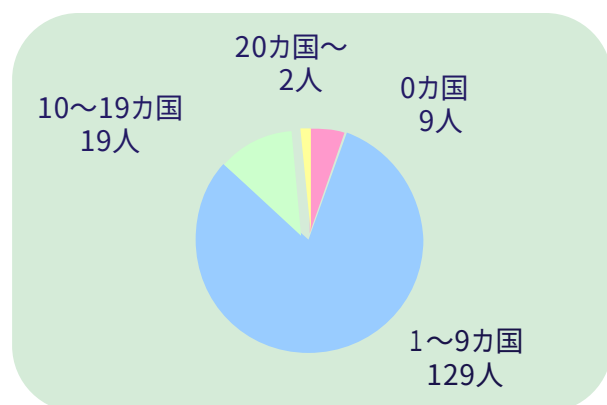


同じ質問を扶桑町の中学生159人に聞いた
結果は次のようになりました。



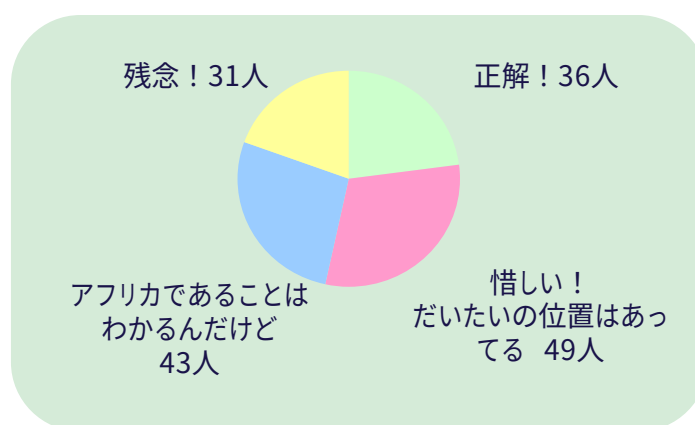
まずは「知らないこと」に気づくことから
始めましょう。

1. アフリカにある国は？



1～9カ国の国名を挙げた人数が一番多く、129人でした。一番
たくさんの国名を答えられた人は、23カ国挙げてくれました。
多かったのは、エジプト、南アフリカ、セネガル、マダガスカル
の順。カーボベルデという国名を書いてくれた人もいました。
スゴイですね。
アフリカには、全部で53カ国あります。扶桑町の中学生159人
で挙げることでできた国は46カ国。これもスゴイ！

2. セネガルはどこ？



これもお見事！4分の1の人が正解でした。
残念な答えの中には、ポルトガルを指した人が
たくさんいました。
国名はわかっても、位置までは難しいですね。

3. セネガルのイメージは？ セネガルと言えば何を思い出す？

暑い／雪が降らない・狭い／赤道に近い／自然がたくさん／ジャングル／草原／木が多い／砂漠／水は結
構ありそう／ピンクの湖／動物がたくさん(サル・象・チンパンジー・ゴリラ・ウサギ)／魚がたくさんいる／人口
は少ない／民族／マサイ族？／民族衣装／黒人／背が高い／天然パーマ／赤い人／家族が多い／木の家／
車大好き／空き缶などでつくった車やたてぶえ／ダンス／太鼓／サッカー／郷土料理／クスクス／マンゴー
／バナナ／ピーナッツ／カレーっぽいもの／ヤサ(食べ物)／羊の肉／手で物を食べる／給食がない／あまり
裕福ではない／お金がなくて砂漠が広がっている／地雷／麻薬／テント／愛知万博／扶桑町と交流 など

このほか、愛知万博のときにお話をしてく
れた先生の名前を挙げる人がたくさんいま
した。また、こんな絵を描いてくれた生徒も
いました。



口の中には違う国？

セネガルはその国の形から「ライオンの口」と言われていますが、その口の中には「ガンビア」という違う国が
あるんです。

テランガの国セネガル！！

① グループに分かれて下の質問について話をしましょう!!

① みんなはいくつ〇がつく?

- ① 朝起きたら、家族にあいさつをする。
- ② 学校や遊びなどから帰ってきたら、家族にあいさつをする。
- ③ 道や出かけた場所で会った友だち、知り合いにあいさつをする。
- ④ 近所や地域の人にあいさつをする。

② みんなは何人家族ですか?

兄弟や姉妹は何人いますか?



📷 下田 愛

- ## ③ セネガルには、"アタイヤ"と呼ばれるお茶を飲む習慣があります。昼ごはんや夜ごはんのあと、ゆったりお茶を飲みながらおしゃべりをして過ごします。
- みんなは、一日にどのくらい家族とおしゃべりしますか?



左手は使っちゃダメ!

食事をするときはスプーンを使うこともありますが、右手で食べます。また、握手をするときも右手! 左手は不浄の手(トイレの時に使うので...)とされています。気をつけましょう!



～古き良き日本って感じ！？～

1. セネガルの人はあいさつ名人！！

セネガルの人はとてもあいさつを大切にします。家族はもちろん友達や知り合い、地域の人みんなにあいさつをします。朝のあいさつに始まり、家に帰ったら今日の一日の出来事や学校のこと友達のことなどたくさんのことを家族に話します。

また、友だちや知り合い、地域の人にあった時もあいさつをし、元気～?に始まり、家族の様子などについて話をします。ごはん時にあいさつをすると「ごはん食べて行きなさい」などと誘われることもよくあることだそうです。セネガルでは、地域の人たちみんなが1つの家族のようで、あいさつを通してお互いのことを知ったり気遣ったりするのです。

2. セネガルでは大家族が一般的！！

セネガルでは、一家族10人くらいが一般的で子どもが8人～10人という家庭も珍しくありません。また、親せきの子どもも一緒に住んでいる家庭もあります。セネガルでは人と人とのつながりをとても大切にして暮らしています。お互いに助け合い、困っている人がいればその人の力になります。

3. セネガルの人はおもてなし上手！！

セネガルの人は、「ごはんを食べて行きなさいよ」とよく近所の人や知り合いなどを誘います。そのためか、食事は、いつ誰が来てもいいように少し多めに作るそうです。それでも足りないときはみんなである分を分け合って食べるそうです。そして、食事の後は「アタイヤ」と呼ばれるセネガル式のお茶でもてなしてくれます。そう、タイトルにもあった“テランガの国”セネガルの意味は、「温かい親切なおもてなしの心を大切にする国」という意味なんです。



ちょこっと豆知識 セネガル式お茶の飲み方「アタイヤ」



下田 愛

ポットにお茶の葉と水を入れ沸かします。砂糖を入れさらに沸かしてからカップに注ぎます。

別のカップに高～いところから注ぎ入れるのを何度も繰り返します。

すると、おいしそうに泡が立ちます。

さぁ召し上がれ!! アタイヤでは、3杯飲むことがマナーです。

1杯飲んで帰るのはマナー違反ですよ! ゆっくりお茶とおしゃべりを楽しみましょう。



イスラム教

敬虔(けいけん)なイスラム教徒は、毎日、早朝5時から夜9時までの間に、計5回、神様・アラーにお祈りをします。また、毎週金曜日は安息日で、男性は民族衣装などでオシャレをしてモスクへ出かけます。女性はモスクへ入ることはできません。

学校へ行こう!

① 次のカードは、セネガルの学校生活について書かれているものですが、ウソ?ホント?



① セネガルの学校は日本と同じ4月に新学年が始まる



② セネガルの学校ではテストの成績が悪いと落第することがある



③ セネガルでは共通語のウォロフ語で授業を受ける



④ セネガルの学校は少人数制なので、ひとクラスが20人くらいである



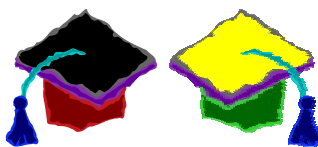
⑤ セネガルの学校に夏休みはない



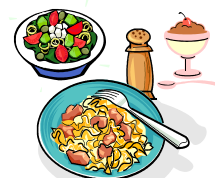
⑥ セネガルでは上級生が下級生に勉強を教えることがある



⑦ セネガルには2つしか大学がない。



⑧ セネガルの学校給食はコース料理になっている



タバスキ



「犠牲祭 (ぎせいさい)」というイスラム教徒最大のお祭りを意味し、アラーの神に羊を捧げて1年の一家の健康と安全を願うものです。息子を生贄に捧げようとしたアブラハムの行為に報いてアラーが息子と羊を取り換えたことから羊を捧げるようになりました。この日は特別な日です。朝9時に村のモスク (イスラム教のお寺) に集まり、みんな



P.11のこたえと解説です。



日本の学校とセネガルの学校、どんなところが違う？
比較しながらセネガルの子供たちの日常生活に触れてみましょう。

1

✕
ウツ

セネガルの学校は10月に新学年が始まります。学年末には学校週間という行事があり、学年ごとに成績が1番の子は先生からご褒美がもらえます。学校週間は、子どもたちがとても楽しみにしている行事で、ご褒美をもらったあとは、「ケルメス」と呼ばれる楽しい遊びやゲームの時間となります。それぞれの学校でやることは少しずつ異なりますが、サッカーやゲーム、ダンスなどをして楽しめます。



学校週間でご褒美をもらう様子 下田 愛

2

ホント

セネガルでは年に2回大きな試験があり、その成績がよくないともう一年同じ学年を勉強しなくてはなりません。なので、学年が同じでも年が違うということがあるのです。

3

✕
ウツ

セネガルの公用語はフランス語です。なので、授業はフランス語で行われます。みんなフランス語とウォロフ語の両方話することができるんです。すごいでしょ！

4

✕
ウツ

40人から多いクラスは60人くらいいます。

5

✕
ウツ

セネガルの学校は10月に始まり6月に終わります。そして、7月から9月まで3ヶ月間夏休みとなります。うらやまし〜!! でもみんな、家のお手伝いや畑仕事などの手伝いをするので、休みといっても遊んで過ごす訳ではないんですよ！

6

ホント

セネガルの学校では先生が十分確保できていない学校が多く、上級生が勉強を教えることもあります。こんなところにも、助け合いの心があるんですね。

7

ホント

日本にやってきて驚くことは、大学がたくさんあることなんですよ!! セネガルで大学に行くということは大変なことかも!? ちなみに、その2つの大学は首都ダカールと古都サン・ルイにあります。日本には、このような高等教育機関が国立・公立・私立併せて1,289校あります。愛知県内だけでも72校あります。

8

✕
ウツ

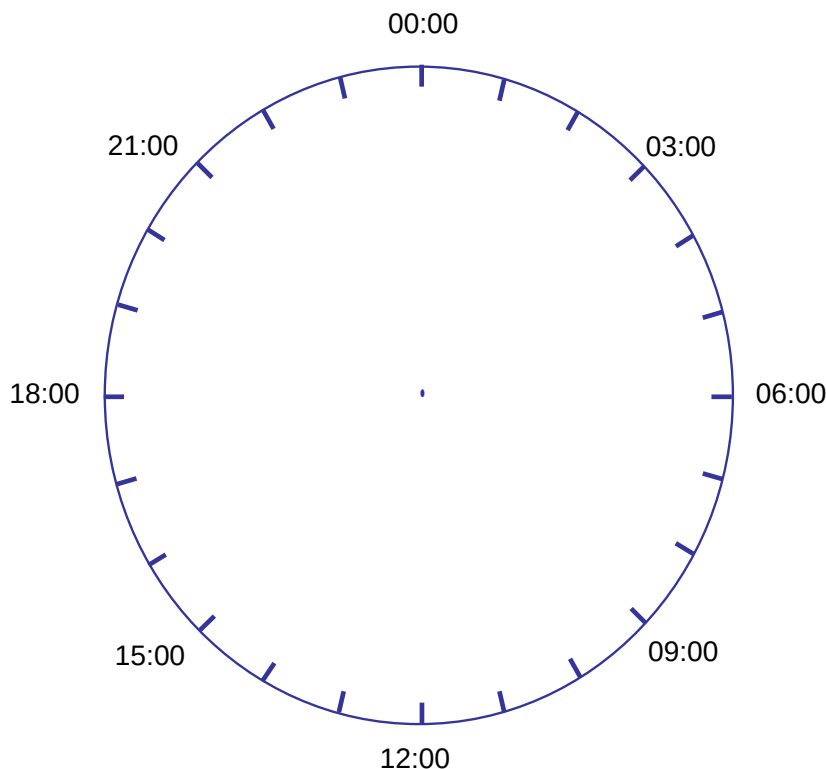
セネガルの多くの学校は給食がないため、みんなお昼は家に帰って食べます。中には、学校まで1時間くらいかかる子もいます。そのため、午後の授業は3時から始まるんです。コース料理の給食が出る国はフランスで、マナーを身につけるためにメイン料理・デザートまで出るそうです。

でお祈りを始めます。お祈りが終わるのは 大体11時頃。お祈りが終わったら、「犠牲祭」という名前のとおり、動物を殺して神様にささげます。動物は羊が一番良いのだけれど、ヤギや鶏でもOK。ただし、豚・馬・ロバはだめだそうです。殺した動物はすぐに調理されます。

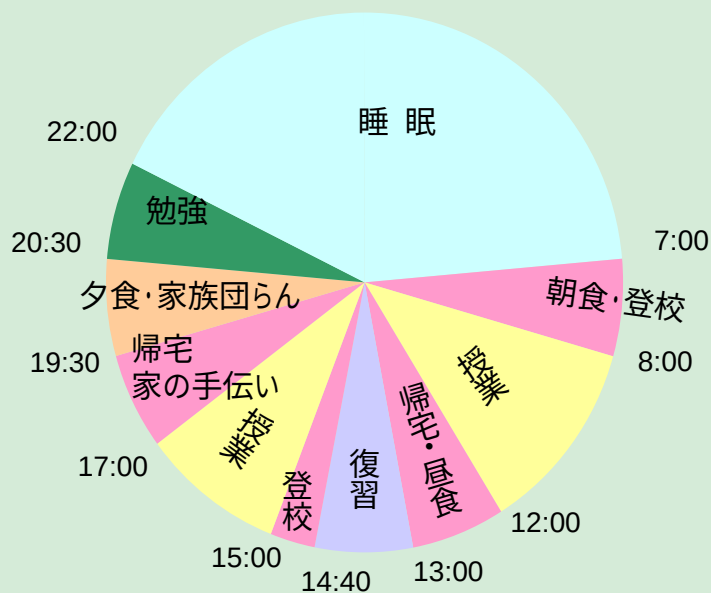
モクタルくん的一天



みんなは毎日どんなスケジュールで過ごしていますか? 平均的な1日のタイムスケジュールをつくってみましょう。



ぼくの名前はモクタル。今11歳で小学校の5年生。
お医者さんをしているお父さんと専業主婦のお母さん、
そして、5人の姉妹がいてみんなで8人家族です。
ぼくの将来の夢は大学の先生になること!
1日のスケジュールはこんな感じかな…。



タバスキ パート2 (P.12のつづき)

そして家族だけでなく、近所の人やお友達にも分けて、みんなでごちそうを食べます。この日はみんなきれいな服を着ておしゃれをします。セネガルではこの時期になると羊の値段が倍くらいになり、首都ダカールでは広場に羊があふれます。また、買った羊を家に運ぶため、車の屋根にたくさんの羊が積まれている光景がよくみられます。



家の手伝いはセネガルっ子の常識

どうでしたか？ モクタルくんと自分の一日を比べてみて何か気づきましたか？

セネガルの子どもたちは毎日、家のお手伝いをします。
モクタルくんも掃除やゴミ捨てなど家のお手伝いを毎日しています。モクタルくんのお姉さんや妹たちも買い物や食事の支度などお母さんのお手伝いをします。

まちの学校に通う子どもたちは、放課後や休日には家ではテレビをみたり、テレビゲームを楽しんでいます。弟や妹たちの面倒をみる生徒も多いそうです。

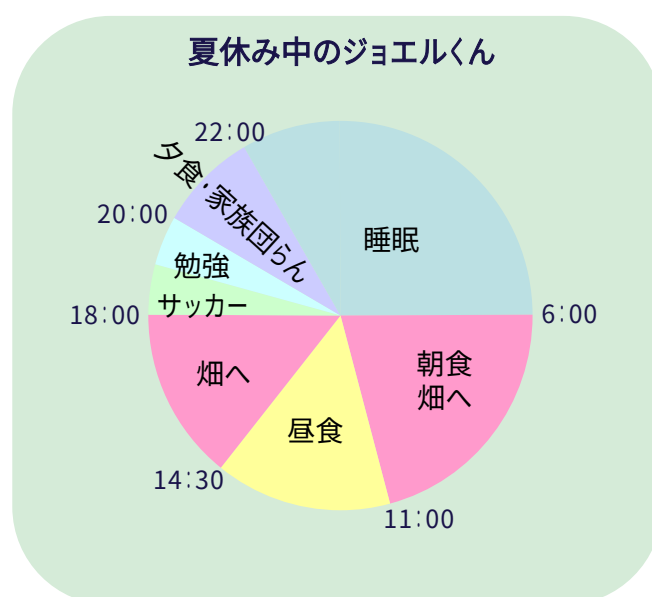
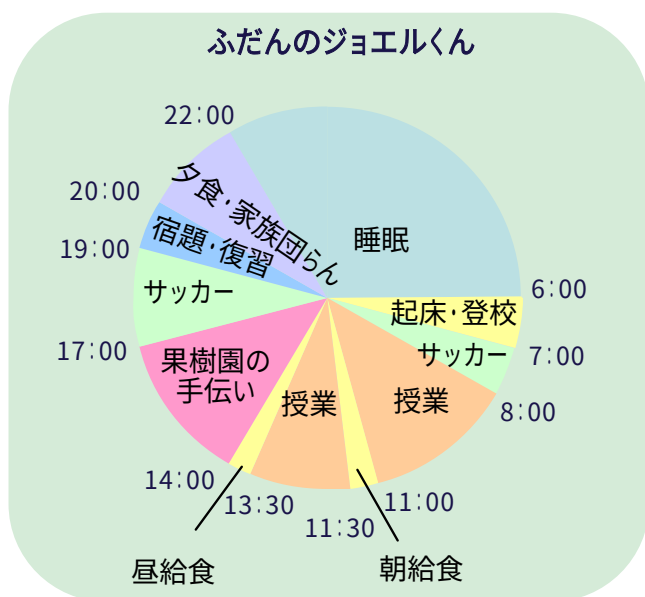


下田 愛

また、村に住む子どもたちは両親とともに畑仕事をしたり、女の子は母親の手伝いをするなど、忙しい毎日を送っています。村では、家の手伝いが忙しくて学校を中退する子どもが後を絶たないという問題もあります。

村の学校に通うジョエルくんの一日

ぼくの家族は、お父さん・お母さんそして、おじいちゃんと弟が3人の7人家族。ぼくは将来サッカー選手になりたいな～。いっぱいお金を稼げるからね。ぼくの一日はこんな感じ。でも夏休みは家の手伝いですごく忙しいんだよ～。



『クロスロード』2005年10月号 独立行政法人国際協力機構発行

セネガルの教育制度

小学校6年、中学校4年、高等学校3年の13年間の授業料は無料ですが、義務教育ではありません。中学校以上の学校に進学するには進級試験に合格しなくてはなりません。これらの学校ではフランス語で教育がされています。

その他「ダーラ」と呼ばれる、日本の寺子屋のようなコーランを学ぶ学校もあります。コーランを学ぶ学校では、文字の読み書きや計算などの基礎学力をつける教育がされないため、識字率などが低いという問題があります。



女の子はとっても働き者

井戸から水を運ぶ時は頭の上にたらいやバケツをのせて上手に運びます。水くみは女性の仕事で、日が昇る前や夕方に水くみに行きます。ほかにも、掃除・洗濯・炊事など家事のお手伝いをします。

主食はお米です！？

① 下の写真を見比べてください。似てませんか？

セネガル料理は、アフリカの中でも種類が豊富でおいしいことで有名です。
また、日本同様お米を主食としていて、魚やお肉と一緒にご飯を食べるという点でも日本と似ています。



チュー (トマトソースのカレー)



カレー



ヤッサ・ポアソン (魚ヤッサ)



焼き魚



チェブ・ジェン (魚ご飯)



炊き込みご飯

📷 太田千春 (セネガル料理)

📖 『365日の献立』2007年7月号・9月号
(株式会社千趣会発行)



調理にはたっぷりの油！！

セネガル人は油をよく使います。10人ぐらいの家族であれば1日約1ℓ。お客様が来る時は、さらに多めの油で!!
それが“おもてなし”なんです。



セネガルと日本のメニュー比較

どうですか?日本のメニューと、よく似てますよね!

“チュー”はトマトカレーのような料理で、材料をトマトペーストなどで煮込みます。“マフェ”というトマトとピーナツバターを使った煮込み料理もあります。どちらもカレーに似ていて、ご飯にかけて食べます。とても日本人の口にも合う料理です。

“ヤッサ”は肉又は魚に下味をつけ、グリルで焼きます。“チェブ・ジェン”はセネガルで最もポピュラーな料理で、魚を揚げ、野菜を煮込んだスープでお米を炊きます。その上に魚や野菜をのせて食べます。食べるときは、スプーンを使うこともありますが、右手で食べます。左手は不浄の手とされているので、必ず右手を使います。

違う点も少しあります。日本では、豚肉をよく食べますがイスラム教では豚肉を食べてはいけないので、豚肉は食べません。また、アルコールも禁止されているので飲酒もしません。

セネガルの人たちの食生活

セネガルも日本と同じで食事は1日3回。家族そろって、朝・昼・夜に食べます。朝ご飯はフランスパン!セネガルはフランスの植民地だったこともあり、どこに行っても必ずフランスパンをつくっているパン工房があります。だから、朝食は必ずパンを食べます。パンにゆでたまごを挟んだり、チョコレートペーストをぬったりして食べます。そして、飲み物はコーヒー!砂糖や粉ミルクをたっぷり入れたコーヒーと一緒に朝食をいただきます。

そして、昼と夜は主食であるお米を食べます。セネガル料理は、お米にあった料理が多く、日本の丼のように、お米の上に料理をかけて食べるものが多いのです。

セネガルでは、家族全員で食卓を囲み、大きなお皿に盛りつけられた料理をみんなそろって食べます。そして、家族みんなでその日の出来事などについてみんなで話をします。また、“テランガの国”セネガルでは、おもてなしの心をとても大切にします。また人と人とのつながりもとても大切にします。もし、食事中に誰かがやってくると必ず食事をしていくように勧めますし、食べることに困った人がいれば必ず手をさしのべます。

アフリカと聞くと、「飢餓」をイメージする人も多いでしょう。しかし、セネガルには「飢餓」は全くありません。これは、人々が思いやりと助け合いの心を大切にしているためです。

セネガル料理



チェブ・ジェン

“チェブ・ジェン”は、セネガルで最もポピュラーな料理のひとつで、日本の炊き込みご飯のような食べ物です。魚を揚げるか、煮るかして火を通します。次に、大きめに切ったじゃがいもやにんじんなどの野菜を煮込みます。そして、魚と野菜のうまみが溶け出した煮汁でお米を炊き、その上に揚げる、煮るなどした魚・野菜をご飯の上にのせて食べます。毎日のように食べる料理なので、材料にする魚や野菜は季節や日によって変わります。また、日本の味噌汁のようにそれぞれの家庭で使う野菜が違ったり、作り方も異なります。セネガル版「おふくろの味」を堪能できる料理です。

“スープカンジャ”は、炊いた白いご飯に、カンジャ(オクラ)をヤシ油でどろどろに煮たソースをかけ、丼のようにしていただきます。表面に真っ赤なヤシ油が浮いていて、見た目はすごいのですが、食べ始めるとご飯がいくらでも入ってしまいます。



スープカンジャ



古河里美



果物がいっぱい!!

セネガルには、マンゴー、スイカ、オレンジなどの果物があり、季節になると市場や道端には山のように果物が積まれます。

セネガルってどんなところ？

シール 3枚×人数



あなたはセネガルにどんな印象を持っていますか？
あなたが学んだセネガルをみんなに教えてあげましょう！



- ① 4～6人のグループに分かれ、それぞれがセネガルにもっている印象について描き出してみましょう。
- ② あなたたちは、セネガルの人です。今日は、日本の子どもたちに「セネガルについて学ぼう」という講座をしにやってきました。どんな方法でセネガルを紹介しますか？
まずは、インターネットや本などを参考にセネガルについての情報をできるだけたくさん集めてみましょう。
- ③ 情報は集まりましたか？
ところが、時間の関係で1グループしか講座ができなくなってしまいました。これから学校の先生に、どの講座をやるか選んでもらうために、企画コンペをします。コンペのためのプレゼンテーションの準備をしましょう。子どもたちを引きつけるキャッチコピーを作り、講座のタイトルを考え、どんな内容の講座にするか、模造紙にまとめてみましょう。
- ④ では、みんなで企画コンペです。
どのグループが一番おもしろいセネガル情報を見つけてきたでしょう？どのグループの講座を一番受けたいと思うでしょう？みんなで投票しあいます。まずはアピールタイム！グループ毎にセネガルを紹介してみましょう。コンペで勝つことを目指して、魅力的なプレゼンテーションをしましょう。
- ⑤ では、いよいよ投票タイム！
全部のグループの模造紙を貼りだし、一人3枚ずつシールを持って、よかったなと思うグループの模造紙に貼りましょう。自分のグループに貼るのもよし！1つのグループに3枚貼るのもよし！3グループの模造紙に1枚ずつ貼るのもよし！貼り方は自由です。学校の先生になったつもりで、子どもたちに聞かせたい講座を選んでくださいね。
- ⑥ では、結果発表！
一番投票の多かったグループにはみんなで拍手をしましょう。さて、プレゼンはうまくいきましたか？他のグループのプレゼンはどうでしたか？みんなで感想を話し合ってみましょう。



コリテ

イスラム教のもう一つの大きなお祭りで、「ラマダン（断食・だんじき）」明けのお祭りです。この日は鶏か（裕福であれば）羊をさばいてご馳走を作り、新しいセネガル服を着て一日飲んだり食べたりして過ごします。



P.17の解説です。



あまり知らないセネガルについてプレゼンすることにより、よりセネガルを身近に感じよう！

セネガル情報ならここにアクセスしてみよう！

●セネガルがいど (<http://www2.mnx.jp/ggg/>)

検索サイトで「セネガルがいど」で検索すると出てきます。

このサイトは、セネガルに派遣された青年海外協力隊隊員が運営しているサイトで、実際のセネガルでの生活や体験などがいろいろな視点で紹介されています。

●セネガル情報サイト (<http://www2.ausenegal.com>)

このサイトはフランス語のサイトですが、より詳しいセネガル情報が入手できます。

●びしみらい

こちらは、セネガルに派遣された青年海外協力隊隊員の村落開発普及員が中心となって作ったセネガルの「HOW TO 本」です。セネガルについてのかなり詳しい情報や写真が掲載されています。



ちょこっと豆知識 セネガル人のおしゃれ講座



いけてる14歳¹⁴

子どもの時からこんなにおしゃれ



太田千春

上の写真をみてどうですか？

セネガルの人たちは「セネガルの着だおれ」と言われるくらいおしゃれに気を遣います。洋服は、自分で生地やデザインを選び、オーダーメイドで作ります。このため、まちには洋服の生地屋さんや、仕立て屋さんがたくさんありますし、多くの女性が、おしゃれのために何時間もかけて髪を結います。

セネガル人は8等身から9等身の人が多いんです。顔が小さく、とても背が高くスタイル抜群!! うらやましいですね～。また、モデル大国でフランスのパリコレなどで活躍するモデルを多く輩出しています。2005年に開催された愛知万博では、セネガルのナショナルデーのために、たくさんのモデルさんが来日し、素敵なファッションショーが披露してくれ、私たちの目を楽しませてくれました。



おしゃれに使う時間は？

愛知万博でアフリカ共同館の館長をされていた方の奥さんにアフリカ女性のオシャレの象徴(?)で一度チャレンジしてみたい髪型でもある編み込みをお願いしたところ最低4時間かかるって!! 言われました。セネガルではおしゃれにそのくらい時間をかけるのは当たり前みたいです!!



フォトギャラリー



市場の様子 (ジュルベール)



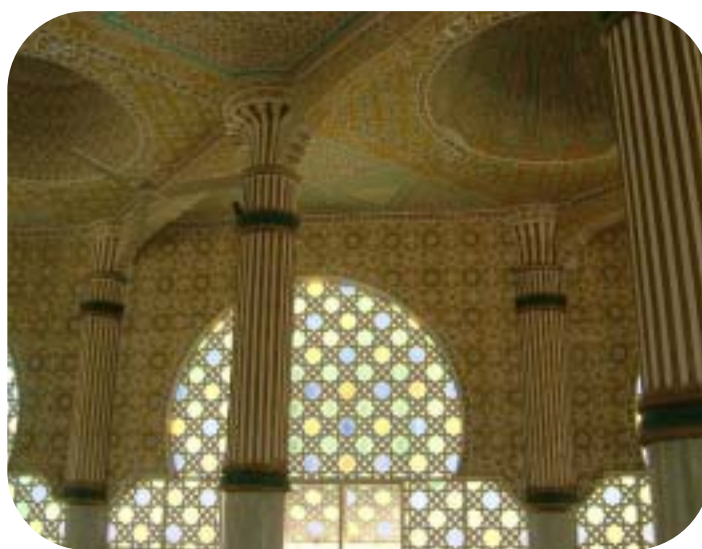
バオバブの木



市場の様子 (ポドール)



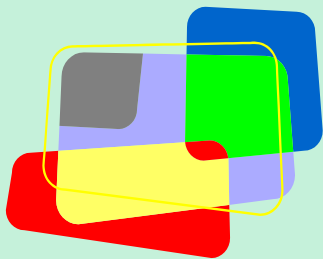
トゥーバのモスク



トゥーバのモスクの中

第2章

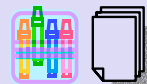
へえ～！セネガルと日本



日本のイメージは“ニヤハナ”！！



ところで、セネガルの人たちは日本のこと、どんなふうに思っているのでしょうか？



- 1 あなたがセネガルの人に、日本のことを伝えるとしたらどんなことを伝えますか？
キーワードを3つ書き出してみましょう。
- 2 下の絵は、セネガルの子どもたちが日本をイメージして描いた絵です。
どんなモノが描かれていますか？また、日本といえば何をイメージしていると思いますか？



- 3 それでは、質問です!!
次の3つのうち特にセネガルで人気がある武道は何でしょう？

1. 空手 2. 柔道 3. 剣道

- 4 セネガルには、日本の相撲に似た伝統的なスポーツがあります。
次の3つのうち何と言う名前でしょう？

1. ジャンベ 2. リュット 3. カフタン



セネガルで一番の人気スポーツはサッカー
特に男の子が大好きなスポーツで、将来の夢がサッカー選手!!なんて男の子がたくさんいます。2002年の日韓ワールドカップでセネガルがフランスに勝った時は、国中がお祭り騒ぎになっちゃった!くらいサッカーは盛り上がります。その他では、バスケットボールもアフリカ屈指の強豪で、人気があります。



P.21のこたえと解説です。



日本とセネガルとのつながりを知ることにより
セネガルを身近に感じよう!

セネガルの人たちの日本のイメージ

日本といえば・・・バイク・車・いいモノがたくさんある。

日本といえば、やはり、高度な技術がある国・豊かな国という印象をもつセネガルの人が多いようです。“ニャハナ”とは、セネガルの言葉で“いい”とか、“豊か”という意味で、「日本のイメージ=ニャハナ」なんだそうです。

私たちがセネガルとのつながりといってまず思い出すのは、パリ〜ダカールラリーではないでしょうか?日本といえばやはり「車」。ラリーでの日本車の活躍は皆さんご存じですね?

そんなこともあり、日本車はセネガルでも大人気!少々お高いので、新車はなかなか手に入れることは出来ませんが、日本車は性能がいいので、中古車でも大人気!自家用車やタクシーなどの交通機関でもよく利用されています。

ところで、パリ〜ダカールラリーって?



ラックローズ (P.7) 横を走るパリダカールラリー

古河里美

「世界一過酷なレース」といわれるカーレース。1977年、アビジャン〜ニースラリーにバイクで参加しリビアで遭難したティエリー・サビーヌ青年の砂漠への情熱から始まったと言われています。1978年を第1回に、毎年開催されていて、トラック部門、バイク部門などもあります。基本的に、フランスのパリをスタートして、スペインのバルセロナからアフリカに渡り、サハラ砂漠などアフリカの過酷な環境を走破し、セネガルの首都ダカールがゴールとなっていますが、治安情勢などでコースが変わります。また、2008年はモーリタニアの治安の悪化を理由に中止されています。

意外とある!! 日本とセネガルのつながり

3の答え・・・1. 空手

4の答え・・・2. リュット

セネガルと日本はお互い遠い国という印象になりがちですが、意外なことにセネガルでは空手が盛んです。空手日本大使杯は、1970年に始まり、2007年で37回目になります。また、セネガル空手道連盟には、100を超える空手道場が所属しています。

また、セネガルには“リュット”という相撲に似た伝統競技があります。サッカーが一番の人気スポーツですがリュットもなかなか人気のスポーツです。このほかにも、セネガルには、30年以上続く「俳句」コンクールがあったりと、たくさんの日本文化が紹介されています。先にも紹介したセネガルのお茶「アタイヤ」などは、日本人にもお茶を飲む習慣があるのでとても親しみがわきますよね?

最近、日本でもセネガルなどのアフリカの音楽やダンスなどがよく知られるようになりました。セネガルの伝統音楽“SABAR (サバル)”の奏者ワガン・ンジャイ・ローズさんは、日本各地でセネガルの音楽の楽しさや素晴らしさを伝えています。こうしてみると、意外とつながりがあるんですね。

ちなみに、ジャンベはアフリカ太鼓の呼び方。カフタンはセネガル男性の民族衣装の呼び方です。



カフタン



太田千春



みんなダンス好き

セネガルでは、お祝い事にはダンスがつきもの!結婚式、命名式等みんなが集まって輪になり踊ります。特別な日以外でも、皆が集まれば、お皿やバケツを楽器にして音を奏でダンス!小さな子でもとっても上手に踊ります。

高層ビルと「わらの家」…どっちがセネガル？

① 次の写真、どれがセネガルの写真だと思いますか？



① 次の写真の中から、セネガルの写真だと思うものを選んでみましょう。

A



B



C



D



E



F



G



H



ABCDEFG 古河里美
H 太田千春

- ② 写真の説明を聞いてどう思いましたか？ 感想を話し合ってみましょう。
- ③ では、考えてみましょう。都市のよいところ、村のよいところは何でしょう？
都市にあって村にないもの、村にあって都市にないものは何でしょう？
それぞれ3つずつグループで書き出してみましょう。
- ④ 書き出したものをみんなで共有し、その中であってはいけない違いは何なのか考えてみましょう。
- ⑤ 現在、日本が行っているセネガルへの国際協力の説明を聞き、感想を話し合ってみましょう。



「ワーオ」と「デーデッ」

現地のことばで「ワーオ」は「はい」、「デーデッ」は「いいえ」です。会話中の相づちでも「ワーオ、ワーオ」とよく言うので、驚いているのかと思っちゃいますネ。



P.23のこたえと解説です。



アフリカの国に対する固定概念をなくすとともに、日本の国際協力について理解しよう！

どれもセネガルなんです

- | | | | |
|-------------------------------|---------------------|----------------------|------------------------------|
| A 市場横のシャレット（馬車）
乗り場 | B 首都ダカール | C 村の住居 | D 首都ダカールの大通り |
| E 地方を走る道路 | F タバスキ前の羊売り場 | G 家の庭の掃除をする女性 | H 高層ビルが立ち並ぶ独立広場
周辺 |

こんなに違う！都市のくらし・村のくらし

ダカールなどの都市と郊外の村では、電気・水道・ガスといったライフラインの普及率が全然違います。例えば、ユニセフによると、セネガルで改善された水源を利用できる人の割合は76%ですが、都市部が92%であるのに対し、農村部では60%となっています。「改善された水源」というのは、必ずしも水道とは限りません。農村部だけみると半分近くの人がきれいな水を使えない状況にいます。

日本はどうでしょうか？...都市部・農村部ともに、100%「改善された水源」を使うことができます。



世界子供白書2008

都市の暮らし

セネガルでは、首都ダカールのほか、北部のサンレイや南部のカオラックは都市部であるといえるでしょう。

ダカールの場合、ライフラインは整備され、生活スタイルも私たちとそれほど変わりません。学校から帰った子どもたちはゲームをして遊んだり、テレビを観たりします。日韓ワールドカップの時にはセネガル対フランスの試合をみんなが観戦し大いに盛り上がりました。しかし、都市化が進むことで問題になっていることもあります。断水や停電がしばしばおこりますし、車の排気ガス、ごみ、渋滞。特にダカールでは問題になっています。中でもごみ問題は深刻で、衛生面が悪いためコレラ、マラリアが流行することがあります。また、雨季になると、街が水浸しになってしまうこともあります。さらに、都市化が進むことにより、人口が集中し、定職に就けない人がお金のかかる生活に必要な収入を得ることができずに周辺にスラムを形成していることも大きな問題になっています。

村の暮らし

多くの村には、電気や水道・ガスが整備されていません。水は、井戸へ汲みに行かなくてはなりません。また、村は学校などの教育施設も充実していません。学校へ行くために、1時間くらい離れた、となり村まで歩かなくてははいけないなんてことはよくある話です。このため、学校へ行くことを辞めてしまったり、家の手伝いが忙しくて学校へ通えなかったりします。このことが、識字率の低さに影響しています。さらに、病院や保健所などの医療施設も充実していません。このため、子どもに予防接種を受けさせることができないなどの問題があります。これらが、平均寿命や5歳未満児の死亡率に影響しているのかもしれません。

日本の国際協力 セネガルへの支援

日本はセネガルの都市部と農村部の格差の解消だけでなく、人が人らしく生きるために最低限必要な衣食住、教育、医療衛生、生活基盤の構築のため、さまざまな支援を行っています。

●日本のODA

2005年度、日本は9億円程度の無償資金協力と18億円程度の技術協力を実施。これまでの援助実績があわせて約969億円となりました。フランスについて日本が2番目に多くセネガルへの援助を行っており、国際協力に貢献しています。



外務省ホームページ

●青年海外協力隊

セネガルには64名の青年海外協力隊隊員が派遣されています。また、これまでにセネガルに派遣された隊員は668名。そのうち愛知県出身者は41名います。隊員たちは現地でさまざまな活動を行っています。例えば、基礎保健の改善に向け、保健啓発、保健関係者の能力向上、住民組織強化、保健システム改善等に取り組んだり、安全な水とコミュニティ活動支援計画プロジェクトや総合村落林業開発計画プロジェクトなどを実施したりしています。（隊員派遣数については2008年2月9日現在）

→P.25 活動報告



時刻表はない！？

セネガルでは、バスが定員になるまで出発しません。このため、日によって出発時間はまちまちです。しかし、人が集まるまで、みんなのんびり待っています。



セネガルの活動報告 ＝頑張るおばちゃんたち＝

私は村落開発普及員として、セネガルの村の女性たちと生活改善や、収入向上の活動をしてきました。セネガルの南部、美しいマングローブ林があることから外国人観光客がよく訪れるトゥバクタ市周辺が私の活動地域。その中でも、町から馬車に乗って1時間くらい(村の女性たちは2～3時間かけて、徒歩で町までやってくるのです)のところに位置する人口100人ほどの小さな村、クール・セレ・カマラ村が私の活動村でした。人口100人といっても60人近くは10歳未満の子供たち。10代も半ばになると男子は町へ出稼ぎに出かけ、年に数回しか村には帰ってきません。村に残るのはお年寄りと女性だけ。そのため、女性たちが家事はもちろん、子育ても畑仕事もすべてしなければなりません。女性たちはいつも朝から大忙しです。



私はそんな大忙しの女性たち(おばちゃんという言葉がぴったりくるので、ここからはおばちゃんと呼びます)と収入向上のための活動を行ってきました。セネガルのおばちゃんたちは、とてもおしゃれ。必ずピアスやネックレスなどの装飾品を身につけていて、結婚式やお祭りとなると色鮮やかなセネガルの衣装でおしゃれをします。そこに目をつけ、ビーズアクセサリーを作って販売するという活動をおばちゃんたちに提案し、アクセサリーの作り方指導から、販売のお手伝いをしてきました。

しかし、おばちゃんたちには時間がありません。午前中は井戸の水汲み、畑仕事、子育て、食事の準備と大忙し。お昼御飯を食べてようやく時間が少しだけとれるような忙しさです。活動を始めたころは、そんなおばちゃんたちの忙しさや大変さも知らずに「話を聞いてくれない」「話し合いに誰も来ない」といつもおばちゃんたちと喧嘩をしていました(いま考えると恥ずかしい話です)。でも村に通っていくうちに、おばちゃんたちの仕事の手伝いをするうちに、その大変さを少しずつ知ることができ、自分が間違っていたことに気づき「どうすれば、おばちゃんたちの負担にならないように活動ができるだろうか?どうしたらお手伝いができるのだろうか?」と考えるようになりました。

最初は言葉もわからず、十分な意思疎通ができなかった私も、少しずつおばちゃんたちと会話ができるようになり、冗談を言い合ったり、時に真剣に話をすることができるようになっていきました。セネガルのおばちゃんたちは、とても明るくて元気。朝から晩まで一日中、汗をだらだら流しながら水汲みや畑仕事などの肉体労働を強いられているにも関わらず、おばちゃんの顔から笑顔が絶えることはありません。おまけに冗談大好き。ノリは大阪のおばちゃんと同じです。「あんた彼女おらんの?うちの子どうよ?お嫁さんにしてあげてよ」なんて冗談は毎日です。

ビーズアクセサリー作りは、いつも照りつける太陽を避けるために、大木の下にゴザを敷いて、みんなで輪になって教えあいながら行っていたのですが、作業中も「いい加減におしゃべり止めて、手を動かして～」と怒らなければいけないほど、いつも大騒ぎです。最初は何度教えても作り方が覚えられず失敗ばかり。途中まで作っていたものをほどこいて最初からやり直すことも何度もありました。そのたびにガッカリしていたおばちゃんたちも、回を重ねるごとに次第に上手になっていき、「これ見てよ、きれいでしょ」と自分が作ったビーズアクセサリーを見せてくれるおばちゃんたちの誇らしい顔が今でも忘れられません。おばちゃんたちが製作したビーズアクセサリーは、首都ダカールやトゥバクタの土産物の屋などで販売しました。それまで農業以外の副収入源を持たなかったおばちゃんたちでしたが、ビーズアクセサリーの製作を始めてから、季節や天候に関係なく収入を得ることができるようになりました。「これで生活が楽になる」「子どもに新しい服を買ってあげられるわ」とみんな大喜び。このアクセサリーは、周辺の村でも話題になり、観光客だけでなくセネガルの女性にも大好評でした。

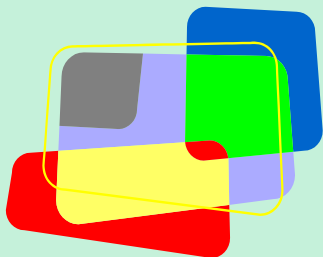


楽しかった2年間はあっという間に過ぎてしまいました。村を離れるときに、おばちゃんたちが「あなたが居なくなっても私たちはがんばるからね。」と言ってくれた言葉が、何よりもうれしかったです。今もおばちゃんたちは、ビーズを囲んでわいわい楽しくやっているのかもしれない。

青年海外協力隊
村落開発普及員 稲葉久之
(2005年4月～2007年4月派遣)

第3章

一緒に考えよう！こんな課題



ピーナッツバターは調味料!?

① ピーナッツバターは好きですか？ 実はセネガルとピーナッツバターは深い関わりがあるのです。

① セネガルでピーナッツの生産が盛んな理由は次のうちどれ？

- A. ピーナッツの原産国だから
- B. ピーナッツを主食としているから
- C. 植民地だった頃にピーナッツ栽培が推奨されたから
- D. 奴隷貿易の貨幣がわりに使われていたから

② それでは、次の漫画をよんでみましょう。



「世界と地球の困った現実」日本国際飢餓対策機構編

→P. 28につづく



ゴレ島

セネガル共和国の首都ダカールの沖合い約3kmに浮かぶ。島は東西300m、南北900mと小さい島。1814年に統治国だったフランスが廃止するまで、奴隷貿易の拠点として栄えた。かつての奴隷収容所が

- ③ さて、この続きはどうなると思いますか？ 続きのストーリーをグループで考えてみましょう。
- ④ グループで考えたストーリーをみんなで発表しましょう。
- ⑤ 実は、この物語はフィリピンで実際に起こったことを描いたものです。実際にはこのあとどうなったのでしょうか？ 漫画の続きを読んでみましょう。
- ⑥ そして、アフリカでも同じようなことが起こりました。次のお話を読んでみましょう。



その昔、アフリカの人たちはトウモロコシや豆、その他穀物を自分たちの食料として作り、自給自足の生活をしていた。しかし、アフリカは長い間行われた奴隷貿易による影響や、先進国に植民地支配されていたなどの理由で、どの国も豊かな国とは言えなかった。このため、アフリカを植民地化していたヨーロッパなど先進国は、アフリカの人たちに、ヨーロッパなどの先進国で売れる作物を作って金儲けをするように彼らに勧めた。そして多くのアフリカの人たちは、ヨーロッパの人たちが好む嗜好品（ピーナッツ・コーヒー・カカオ・紅茶など）を自分たちの畑で、また国全体で作るようになった。みんな、先進国で売れる作物を作って売れば、豊かになれると思った。

しかし、彼らが作った作物をヨーロッパの人たちは安く買い取った。だから彼らは自分たちが思ったほどのお金を手にすることが出来なかった。しかし、アフリカの人々は、自分たちの食料を作っていた畑でピーナッツや、コーヒーなどを生産したため、自分たちの食糧の確保さえままならない状態となった。

- ⑦ フィリピンの漫画とアフリカのお話を読んで、どう思いましたか？ グループで感想を話し合ってみましょう。
- ⑧ このできごとは、「緑の革命」とよばれ、フィリピンやアフリカだけではなく、インドや南米の国々でも同じようなことが起こりました。もともと貧しい人たちを助けようとして作られた品種改良の種によって、結局は貧しい人たちがもっと貧しくなってしまうようなくみが作られてしまったのです。今、日本では様々な形で国際協力が行われています。「緑の革命」のようなことが起こらないようにするためには、どんなことに気をつけて支援をするといいと思いますか？
思いつくことをできるだけたくさん考えてみましょう。



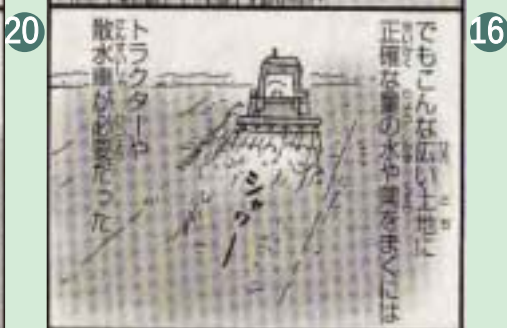
P.27～28のこたえと解説です。



先進国が途上国に対して行っていることが、途上国にどのような影響を与えているのかを知り、国際協力のありかたを考えよう

1 C

2 (P.27漫画の続き)



「世界と地球の困った現実」日本国際飢餓対策機構編

『緑の革命』

⑥は、1970年代に、アフリカで実際に起きたことです。このとき、先進国は農業のやり方も変えました。それまでは、伝統的な農業を営んできたアフリカの人たちに近代的な農業を教えました。高価な種や、肥料を買うためのお金も外国の銀行や国が貸し付け、国全体で先進国に売るための作物づくりを推進したのです。

それなのに、豊かになると思って作った作物は思ったほど高く買い取ってもらえず、農家の人たちには国や銀行からの借金だけが残りました。こうして、アフリカに貧困や飢餓の原因を作ってしまったのです。

セネガルでも、一時期、市場価格の低迷により債務の増大など経済的に逼迫した時期がありました。しかし、政府が緊縮財政、構造調整、民営化などの経済施策を推進した結果、アフリカ諸国の中では比較的安定した国の1つとなり、アフリカ諸国で中心的な役割を果たすようになりました。

「緑の革命」によって多くの途上国の人々が同じような流れで貧しくなってしまいましたが、台湾では、新しい種を自分たちのペースで家族単位の畑に取り入れ、失業者を出さずに収穫をあげた例もあります。

ピーナッツバターが調味料！？

植物油というとみなさんは何を思い出しますか？日本では、調理のとき、なたね油、大豆油、コーン油、ごま油などが多く使われますが、セネガルではピーナッツ油を使うのが一般的です。また、セネガル料理では、味付けやコクをだすためピーナッツバターをまるで調味料のように使います。

ところで、ピーナッツは英語でPeanut。Pea=草の実、Nut=木の実が合わさって「畑にできる木の実」という意味です。日本語では「落花生」とも言いますが、英語でも「earthnut」や「groundnut」とも言います。原産は南アメリカのアンデス山脈と言われています。「落花生」という名前から花が落ちて実がなるように思われてしまいがちですが、実際には自家受粉してできた子房柄が土に刺さり、それが土の中で育って豆になります。

ピーナッツの2005年の生産量は、中国が一番多く1440万トン、セネガルは、インド、ナイジェリア、アメリカ合衆国、インドネシア、スーダンに続いて第7位で82万トンでした。



 全国落花生協同組合連合会
ホームページ

 FAO2005年統計

ピーナッツバターを使った料理 MAFE (マフェ) を作ってみよう！！

《 材 料 》

鶏肉 (ほねつき)	400g
たまねぎ	2こ
だいこん	1/3本
にんじん	1本
じゃがいも	3こ
トマト水煮缶	1缶
ピーナッツバター	大さじ2
しょうが	1かけら
にんにく	1かけら
油	大さじ2
水	200cc
コンソメスープの素	2こ
塩・こしょう・ミックススパイス	

- ① 鶏肉の水気をふいて、塩、こしょう、おろしたしょうが、にんにくをすりこむ。
- ② なべに油をいれ、肉を中火できつね色になるまでいため、取り出す。
- ③ 2のなべにみじん切りにしたたまねぎと一口大に切った野菜を入れて、いためる。(カレーのように)
- ④ 水、トマト水煮缶、コンソメ、塩、こしょう、ミックススパイスを入れて、煮立ったら弱火にして20分くらい煮込む。
- ⑤ 4に2の鶏肉をもどし、ピーナッツバターを加えてさらに10分くらい煮込む。
- ⑥ ごはんにかけてできあがり。



豊かさについて考えよう！

① みんなにとっての「豊かさ」って何でしょう？



- ① ここに11枚のカードがあります。
自分が「豊かな生活」を送るために必要だと思うものを3つ選び、必要な順に並べてみましょう。
11枚のカード以外に必要だと思うものがあれば、白紙のカードに書き込んでもOKです。
- ② 次にグループに分かれ、ランキングしたカードを比べてみましょう。
また、どうしてそのランキングにしたのか、理由を話し合ってみましょう。
- ③ みんなで感想を話し合しましょう。
- ④ 話し合ったことやみんなの意見も思い出しながら、「セネガルの豊かだと思うところ」「日本の豊かだと思うところ」をグループで3つずつ考えてみましょう。
- ⑤ では、セネガルであっても日本であっても、どんな国であってもだれにとっても、生きていくのに「必要なもの」は何でしょう？ グループで話し合ってみましょう。
- ⑥ さきほど考えた「豊かなところ」と「必要なもの」と比べてみてどうでしょう？
みんなではなしあってみましょう。



自由な時間



家族



学校



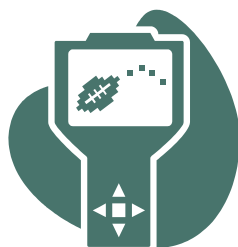
携帯電話



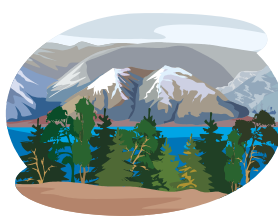
家



ゲーム機



自然



お金



→P.32につづく



バナバナ 都市部（主にダカール）にたくさんいる行商人のことで、手にいっぱいの商品を持って売りに廻っています。車で信号待ちをしていると、お水やジュースなどを売りに来てくれます。まるでセネガル版ドライブスルーしかし、2008年、セネガル政府はバナバナが行商する場所を限定すると発表しました。バナバナたちの姿が見られなくなるのはとても残念です。



豊かさって何だろう？

「豊かな暮らし」といっても、価値観は人それぞれです。お金と時間を十分持っているからといって豊かな気持ちで暮らしているとは限りませんし、経済的には貧しくても、家族や友人など人とのつながりが強かったり、趣味や社会活動などで生きがいを持っていたりするなど、豊かに暮らしている人もいます。

少し前まで、「豊かさ」をはかる目安として、国内総生産(GDP)に代表される経済的な指標が主に使われていました。しかし、最近になって「もの」に代表される物質的な豊かさ、経済的な豊かさだけでなく、心の豊かさなど、「もの」以外の指標を含めた「総合的な豊かさ」を考えることが国際的にも広く認識されてきています。

その一例として、国連開発計画 (UNDP) の「人間開発報告書」では毎年、世界の国・地域の人々の生活の質、発展の度合いを示す人間開発指数 (HDI = Human Development Index) を発表しています。これは、GDPより幅広い定義で生活の豊かさを測ろうと、人間開発に関わる三つの側面を組み合わせた指数で、「健康で長生き」でき、「教育」が受けられ、「人間らしい水準の生活」が送れるかどうかをそれぞれ平均寿命、成人識字率および初・中・高等教育の総就学率、一人あたりの国内総生産 (GDP) を基に算出した指数です。

豊かさの要素としてよく挙げられるのは、「自然がいっぱい」「笑顔でいられる」「安全」「平和」「健康」「地域とつながっている」「物質的に豊か」「健康」「娯楽がある」「こどもがたくさんいる」「様々な選択肢がある」「自由に発言できる」「情報がいつでも得られる」「家族がいる」...などです。



UNDPホームページ

人間が生きていくために「必要なもの」と「あるといいなと思うもの」

「豊かさ」を考えると気をつけなければいけないのは、人間が人間らしく生きていくために最低限「必要なもの」とゆとりある生活をするために「あるといいなと思うもの」とを区別して捉えることです。例えば、11枚のカードの中で、家や食べ物は最低限必要なものですが、ゲーム機や携帯電話が必要かどうかは個人の価値観によって異なります。

わたしたちの生活基盤を構成する基本的な要素として、最低限必要な衣食住、教育、医療衛生、生活基盤などはこの国の人にとってもどんな人にとっても守られるべきものです。これをBHN (Basic Human Needs、人間の基本的な生活要求) と呼びます。

このBHNを満たすのに最低限必要な水準は1日2ドルの暮らしと言われていますが、1日1ドル以下で生活している絶対的貧困と呼ばれる状態の人は世界で12億人、1日2ドル以下で生活している人は20億人以上、安全な水を得ることができない人は10億人、8億5,000万人以上が十分な食糧を得ることができないなど、基本的人権であるBHNが守られていない人々がこの地球にはたくさんいるという現状があるのです。



『人間開発ってなに?』国連開発計画

食べ物 	お医者さん 	コンピュータ 	
--	--	--	--



貸し電話屋さん

携帯電話の普及が進む一方で、固定電話を引くと高いため、セネガルには貸し電話屋さんがあります。自分の家の一部を改装するなどして営業しており、料金は距離・時間によって異なります。



フォトギャラリー



古河里美(左上2枚&右3枚)



ンゲンテ (命名式) のダンス



村で行われたサッカー大会の様子



ポドールの市場



カール (乗り合いバス)



羊さまのお通り〜 (普通の道を羊が通ります)



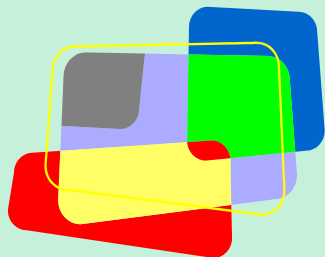
村で飼われていたロバ



太田千春

第4章

そして未来へ



もしも外国とのつながりがなくなったら

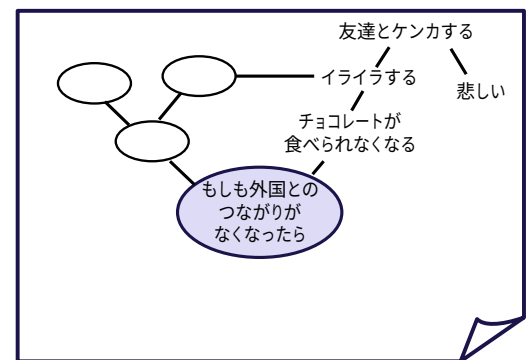


「国際交流」は何のためにするのでしょうか?外国に行くこともないし、周りに外国人もいないから、「そんな関係な〜い!」って思っている人はいませんか?



- 1 きょうの朝起きてからここに来るまで、使った物、食べたり飲んだりした物、話した人、行った所...何でもいいので、自分が関わった物、人、ことなどをみんなでどんどん出し合って、黒板に書き出してみましょう。
- 2 いくつ書き出せましたか? 書き出したものを見てどう思いましたか? 思ったこと何でもいいので、感想を全員で話し合ってみましょう。
- 3 ではその中で、外国とのつながりがなかったらなくなってしまうものはありますか? 外国とのつながりがなかったらなくなってしまうものを、Xで消してみてください。いくつ残りましたか?

- 4 それでは、①〜③で考えたことも頭におきながら、もしも外国とのつながりがなくなったらわたしたちの生活はどうになってしまうのか、4〜6人のグループに分かれて考えてみましょう。

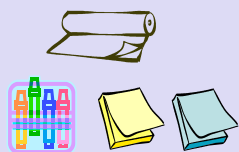


それぞれのグループで模造紙を1枚ずつ用意して、真ん中に「もしも外国とのつながりがなくなったら」と書き込んでください。そこから、どうになってしまうか

思いつくことを書き、さらにそれがどんな風につながっていくのか派生させて考えてみましょう。

例えば、「もしも外国とのつながりがなくなったら→チョコレートが食べられなくなる→イライラする→友達とケンカする→悲しい」もちろん、悪いことばかりではないかもしれません。「もしも外国とのつながりがなくなったら→英語を勉強しなくてもいい→伝統的な美しい日本語が受け継がれていく」他の人が書いた意見に付け加えたり、つなげたりしながら、自由な発想でどんどん広げていってください。

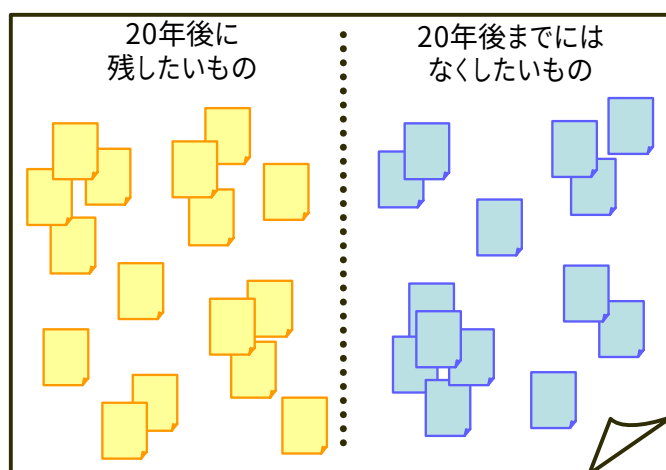
- 5 各グループで考えたことを発表し、みんなで共有しましょう。
- 6 他のグループの発表を聞いてどう思いましたか? 感想を話し合いましょう。
- 7 では最後に、今までやってきたことをふりかえりながら、「何のために国際交流をするのか?」1人ずつ、裏紙に書いてみましょう。



① 未来を創るために自分に何ができるか考えてみましょう。

- ① 今地球にある物またはことで、「20年後に残したいもの」、「20年後にはなくしたいもの」は何ですか？
それぞれ3つずつ考え、付箋紙1枚に1項目ずつ書き出しましょう。
その時、「残したいもの」と「なくしたいもの」は違う色の付箋紙に書くとわかりやすいでしょう。

- ② 4～6人のグループに分かれましょう。
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「残したいもの」、右側には「なくしたいもの」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。
また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- ③ 各グループから出た意見を発表し、全員で共有しましょう。
- ④ では、20年後そうした地球を実現するために、今わたしたちにできることは何でしょう？
自分がやろうと思うことを裏紙に書き出してみましょう。
- ⑤ 全員で共有しましょう。

もしも外国とのつながりがなくなったら？



●派生図を描いてわかったこと
『もしも外国とのつながりがなくなったら...』

- ・良いことも悪いこともある
- ・日本は食糧と石油の部分で大きく影響を受ける
- ・「お楽しみ」が減る (映画、音楽、旅行、スポーツ)
- ・文化的な豊かさが減る
- ・世界の様子が見えなくなり不安になる
- ・資源が減る (輸入大国日本)
- ・世界の良さを知らないで日本の良さも見えなくなる

20年後に残したいもの・20年後にはなくしたいもの

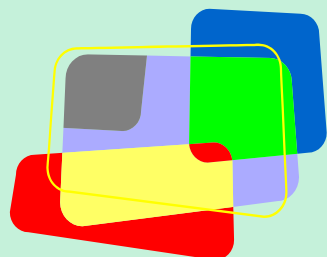
●20年後に残したいもの●

豊かな食／伝統文化／交流・共生／人とのつながり／自然環境／便利さ／希望／やすらぎ
問題解決⇄協力・協働⇄非暴力
安全で豊かな環境／暮らしやすい環境／娯楽
平和／笑顔

●20年後にはなくしたいもの●

環境破壊／貧富・格差／いじめ／差別／犯罪
病気／武器／戦争・紛争／核／つめこみ主義
人間よりお金が大事にされる、そんな社会イヤだ！
安全でない食

参 考 資 料



目で見えるセネガル



国旗の色は、アフリカの国旗に多く見られる色で、緑は農業と希望、黄色は富、赤は独立のために流された血と苦難、努力を表している。黄色の地に描かれた中央の緑の星は希望と勇気を表し、自由と統一のシンボルでもある。

●人口●

 12.2百万人 (2007年)



 128.0百万人 (2006年)



●面積●

 197,161km²
(日本の約半分)

 377,887km²



●言語●

公用語: フランス語
ウォロフ語など各民族語

●通貨●

CFAフラン
(セーファー)

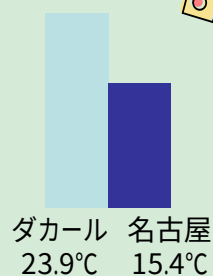
●気候帯●

南部: 熱帯サバナ気候
北部: ステップ気候

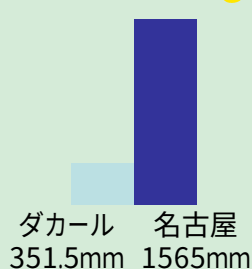
●首都●
ダカール



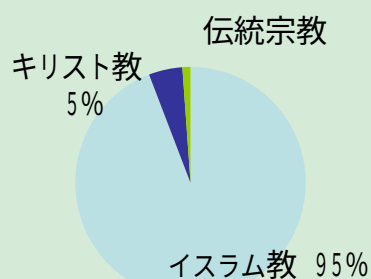
●平均気温●



●年間降水量●

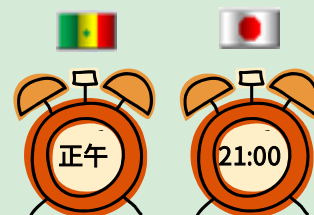


●宗教●



●日本との時差●

−9時間



◆国旗: 『世界の国旗』吹浦忠正監修 (Gakken) ◆人口・面積・首都・主要言語・通貨: 外務省ホームページ「各国・地域情勢」
◆日本の人口: 世界子供白書2008 (ユニセフ) ◆日本の面積: 総務省統計局「日本の統計」◆気候帯・平均気温・年間降水量: 外務省
ホームページ「探検しよう! みんなの地球」◆名古屋の平均気温・年間降水量: 気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46~
H12年の平均) ◆日本との時差: 『世界の国一覧表』(財団法人世界の動き社)

●主要産業●



農業
落花生・粟・綿花



漁業
マグロ・かつお・えび・たこ

●日本との
貿易主要品目●



水産物等



ディーゼルエンジン等

●一人あたりのGNI●



750米ドル (2006年世銀)



38,410米ドル (2006年世銀)



●在留邦人数●



194人 (2007年10月現在)

●在日セネガル人数●

261人 (2006年12月現在)

●出生時の平均余命●



63年



82年



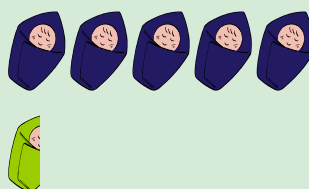
●5歳未満児の死亡者数●
(出生1000人あたり)



50人 (2006年)



4人 (2006年)



●都市人口の比率●



42% (2006年)

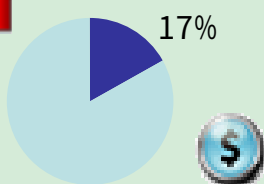


66% (2006年)

●1日1ドル以下で
暮らす人の比率
(1995～2006年)



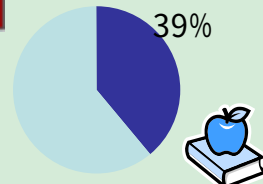
17%



●成人の総識字率●
(2000～2005年)



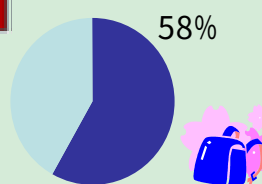
39%



●初等教育
純就学/出席率
(2000～2006年)



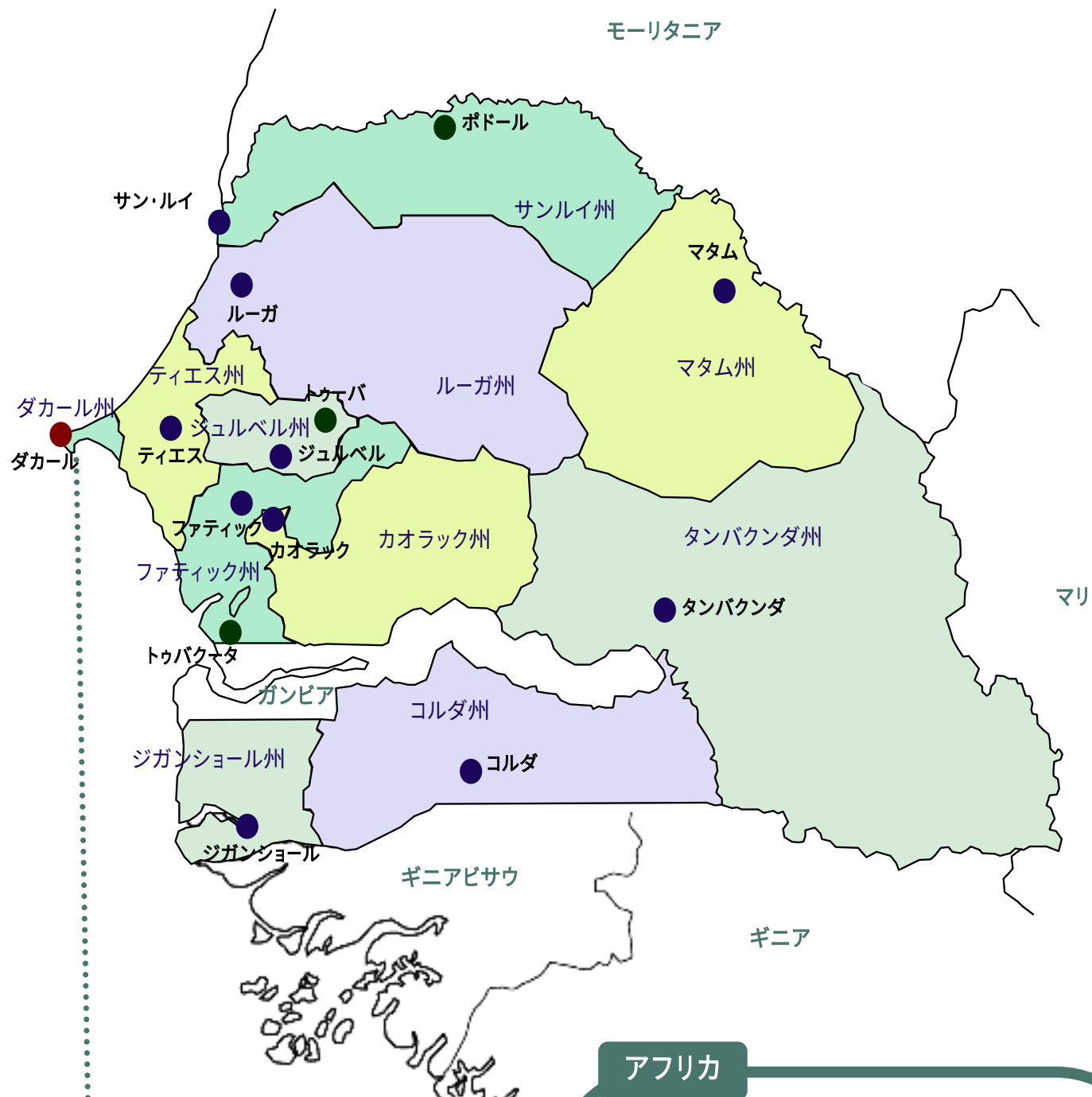
58%



◆主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日セネガル人数：外務省ホームページ「各国・地域情勢」

◆一人あたりのGNI・出生時の平均余命・5歳未満児の死亡者数・都市人口の比率・1日1ドル以下で暮らす人の比率・成人の総識字率・初等教育純就学／出席率：世界子供白書2008 (ユニセフ)

セネガル地図

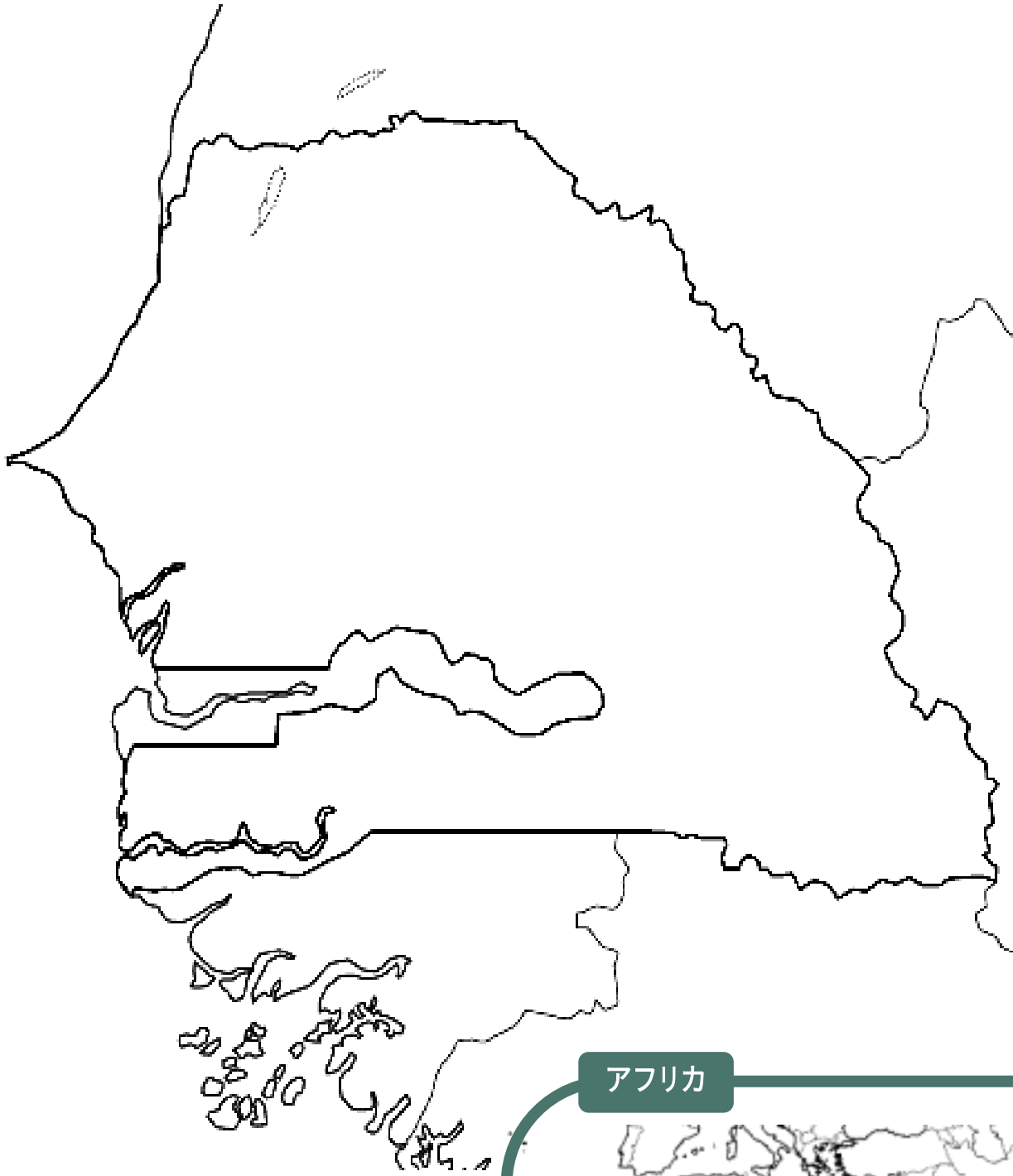


ダカール



アフリカ





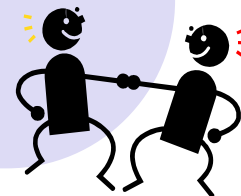
アフリカ





参考文献・データ等出典

- 国連開発計画 (UNDP) のホームページ
<http://www.undp.or.jp/>
- 外務省ホームページ「各国地域情勢」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- 外務省「探検しよう! みんなの地球」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
- 総務省統計局「日本の統計」
<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 文部科学省
<http://www.mext.go.jp/>
- 独立行政法人国際協力機構中部国際センター
<http://www.jica.go.jp/chubu/index.html>
- 財団法人日本ユニセフ協会『世界子供白書2008』
<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 全国落花生協同組合連合会
<http://www.peanuts-jp.com/p-pw01.html>
- 『世界と地球の困った現実』日本国際飢餓対策機構編 明石書店
- 『クロスロード』2005年10月号 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 発行
- 『365日の献立』2007年7月号・9月号 株式会社千趣会発行



ご協力いただいた方たち 【敬称略】

- 青木澄夫 (中部大学国際関係学部国際関係学科教授)
- 太田千春 (JICA 青年海外協力隊OG)
- 古河里美 (JICA 青年海外協力隊OG)
- 下田 愛 (JICA 青年海外協力隊OG)
- 横山真知子 (JICA 青年海外協力隊OG)
- 稲葉久之 (JICA 青年海外協力隊OB)
- 独立行政法人国際協力機構中部国際センター



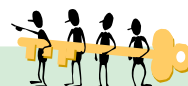
執筆

扶桑町

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
財団法人 愛知県国際交流協会



教材作成チームメンバー



津島市・愛西市・北名古屋市・弥富市・大治町

世界の国を知る 世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 セネガル共和国 

2008年3月

発行

愛知県

**企画
編集**

財団法人 愛知県国際交流協会

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号

あいち国際プラザ

TEL:052-961-8746 FAX:052-961-8045

E-mail:koryu@aia.pref.aichi.jp

URL:http://www2.aia.pref.aichi.jp

印刷

株式会社 丸和印刷



